

[天神川]

天神川は、昭和56、57年の下小埜団地の300戸を越える浸水被害を契機に昭和59年に河川改修に着手し、下流から延長795mの河川改修を完了させたが、その上流部の小埜橋上流から市道十号橋上流までの区間は、河積（川の断面積）が小さく、河川流路もクランク状に屈曲しているため、計画流量の5分の1の流下能力しかなく、宅地及び農耕地に浸水被害が発生している。

このため、河道の拡幅と線形改良により、概ね10年に1回程度発生すると予想される洪水を安全に流下させる。

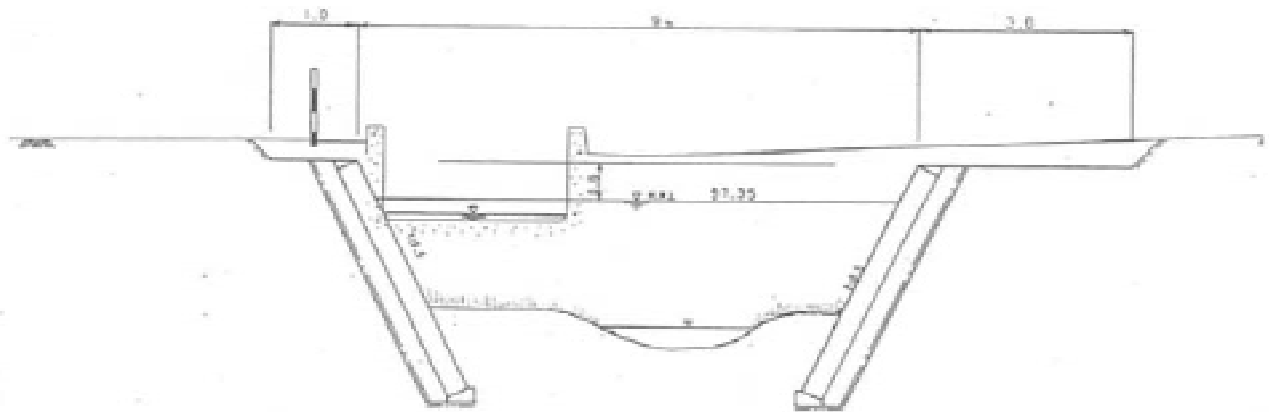
改修にあたっては、地被植物や草類が生え茂るよう工夫したブロック等を使用し、みお筋も蛇行させて、自然な水際となるよう工夫する。

施行の場所	小埜橋上流約240mから市道十号橋上流50mまで
延 長	L = 約1,000m
整備の内容	河道掘削、護岸工、橋梁架けかえ

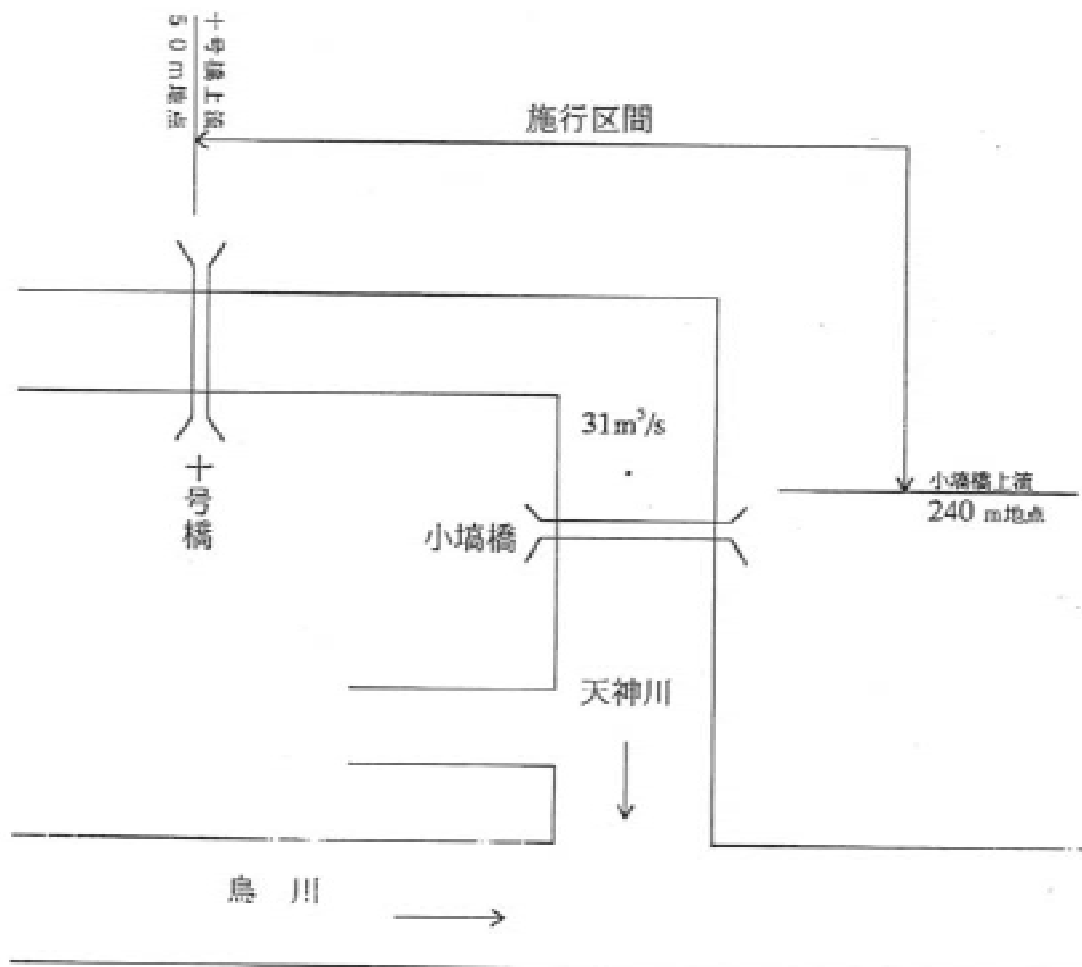


平 面 図（縮尺：1/25,000）

[天神川]



代表横断図（小埜橋上流 240 m地点）



計画流量配分図